

おわりに

—フェイス・トゥ・フェイスのトレーニングを目指して—

モンゴル国におけるワークショップは、好評のうちに終了し、参加者からの強いご要望により、今後、毎年開催することになりました。労災病院グループがこれまで蓄積してきたじん肺やアスベスト関連疾患についての臨床経験が、症例検討を通して、モンゴル国の方々に伝承されたものと考えられます。これまで、標準フィルムについての講習会はありましたが、今回のような症例検討を主としたワークショップはありませんでした。今後、このようなフェイス・トゥ・フェイスのトレーニングを労災病院グループの方式として定着させてゆきたいと考えます。

また、今回のワークショップを通して、モンゴル国の方々が、じん肺やアスベスト関連疾患以外の職業病、例えば振動障害などについても、協力を求めていることが分かりました。このように、これまで我々が蓄えてきた職業病についての知見を、モンゴル国をはじめ、アジアの国々に伝承し、アジアの国々の職業病対策に貢献してゆくことが今後の我々の使命であると考えます。

独立行政法人 労働者健康福祉機構 総括研究ディレクター
関原 久彦

執筆者一覧 (執筆順)

関原 久彦

(独立行政法人労働者健康福祉機構 総括研究ディレクター)

清水 信義

(独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山労災病院 院長)

Vanya Delgermaa

(産業医科大学産業生態科学研究所 環境疫学 助教)

木村 清延

(独立行政法人労働者健康福祉機構 北海道中央労災病院 院長)

岸本 卓巳

(独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山労災病院 副院長)

高橋 謙

(産業医科大学産業生態科学研究所 環境疫学 教授)

高嶋 結花

(独立行政法人労働者健康福祉機構 医療事業部勤労者医療課 研究班 主査)

柘植 典久

(独立行政法人労働者健康福祉機構 医療事業部勤労者医療課 課長)

平成 23 年 3 月発行

発売元／独立行政法人 労働者健康福祉機構

〒 212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地ソリッドスクエア東館

©労働者健康福祉機構